

	三重大学 医学系分野
学部・研究科名	<p>医学部（第1年次：125） ※医学科を記載。 医学系研究科（M：15 D：45） ※M：医科学専攻を記載。 ※D：生命医科学専攻を記載。</p>
沿革・設置目的	<p>医学に関する教育・研究を行うことを目的に設置された三重県立医学専門学校、三重県立医科大学、三重県立大学医学部を経て、昭和47年（1972年）国立に移管され三重大学医学部として設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） （国立）三重大学設置 昭和25年（1950年） 三重県立大学設置 昭和25年（1950年） 三重県立大学医学部設置 昭和47年（1972年） 三重大学医学部設置（三重県立大学から移管） 昭和50年（1974年） 三重大学大学院医学研究科設置（平成17年（2005年）に大学院医学系研究科に改組） 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p>
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医学部の基本理念等に基づき、確固たる使命感と倫理観を持って医療に臨むことのできる医師の養成を積極的に推進する。特に県下全市町の協力による地域医療教育、半数以上の学生が参加する海外臨床実習の実施により、国際的な視野を持って地域に根ざした活躍ができる（グローバルイニシアチブ）人材育成を行う。 ○ 国際ネットワークでの共同研究（マラリア原虫に関する研究等）や腫瘍免疫学等を始めとする研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、先進医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ 三重県等との連携の下、県内の地域医療を担う医師の養成を積極的に推進するとともに、県内の地域医療を担う医師の確保及びキャリア形成を一体的に支援し、医師の偏在解消に貢献する。 ○ 治験拠点医療機関としての取組実績を活かし、高度で実行に困難を伴う治験等の実施を推進し、日本の医療水準の向上及び日本発のイノベーション創出を目指す。 ○ 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や都道府県がん診療連携拠点病院、救命救急センター、地域周産期母子医療センター等と

しての取組を通じて、三重県における地域医療の中核的役割を担う。